

11月参加者のコメント





井上まやさん

わずか4鞍と外乗だけの素人を、レースに出馬させていただきましてありがとうございました。
インストラクターの方には丁寧に教えていただきまして、練習中は落馬したものの、無事に2レース終えることができました。

初落馬、初レース、ほんとにいい記念でした

2レース目のハンディレースでは、ゴール寸前、逃げ切れたかな？って思いましたが、鼻先で負けてちょっと悔しいです、そんな本番さながらな体験もすごく楽しかったです。

次回は、騎手乗りに挑戦したいなどと、無謀なことを考えています

又、ぜひ参加させてください

皆様、レイン君、ほんとにありがとうございました



スタッフ小森

テル君に騎乗と聞かされた時はびっくり、というのも、以前テル君に乗せてもらったときに何度か落とされた事があるので、言わば私にとって天敵といえる馬です。そのテル君が今回は戦友になるとは思いませんでした。もしかしたら途中ではねは飛ばされ、空馬でゴールするかもしれません。レースの前の練習で、テル君が余裕の走りをしようとしていたので、これはテル君に任せられるなと感じました。相手は強豪ラオ&佐々木騎手とレイン&井上騎手。レース前からラオは疾風のごとくパノラマコースを激走しています。うらやましげに見つめながら、走路を軽くキャンターしつつ、安全に楽しくね、今日戦う相手は私じゃないのよ、とテル君に耳打ちしてみたり。

1レース目、スタート直後、最初は抑えていたというラオが横をすり抜け、あっという間に見えなくなったのに引きずられるようにスピードを上げるテル君。ですが、与那国馬のバランスに慣れない私は手綱をしぼってしまいました。それでもテル君は辛抱強く走ってくれました。ゴールを切った後、テル君のがんばりように少し仲間意識を感じた私。天敵なんて思ってしまったってごめんね！次はがんばろうね！

2レース目、ラオが30m後ろからのスタートとなりました。ですが、あのラオの疾走ぶりを見ていると、すぐに追いつかれるのはわかっています。なので、最初からテル君に任せスタートダッシュを決めました。後ろから与那国馬の足の短さのせいか、すごいテンポある足音が迫ってきます。ついに私も脚を入れました。テル君も最後の末脚を使います。ですがラオの足音はすぐ後ろまで近づいて来ました！さされる！と思ったのと同時にゴールラインを越えました。その直後、音速を感じる程の風圧を我々に浴びせながらラオと佐々木騎手が前方に消えて行きました。

ゴールまでの直線を限界のスピード（は実際出してませんが）で駆け抜ける。そしてテル君の一生懸命の走り。終わった後は感動してしまいました。

そしてテル君との距離が少し縮まったかな？と感じました。